

岡山市政ニュース 速報版

2026年2月3日 日本共産党岡山市議団 NO. 314

岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

国保料 平均 2,700 円値上げ 「子ども子育て支援金」 26年度から上乗せ徴収

岡山市は、2026年度の国民健康保険料（国保）を1人平均で年2,700円引き上げることを2月3日の市国保運営協議会に提案し、了承されました。値上げ案は、2月16日から始まる2月定例議会に提案され、3月17日の最終日に採決されます。

また、保険料の上限を4万円引き上げて113万円とする条例改正案も、了承されました。

岡山市の国保料に上乗せされる「子ども子育て支援金」の目安（1人世帯）

所得（収入の程度）	子ども子育て支援金（年）
43万円以下（給与108万円／年金150万円）	600円 ※7割軽減
70万円（給与135万円／年金185万円）	1,700円 ※5割軽減
100万円（給与165万円／年金210万円）	3,100円 ※2割軽減
200万円（給与／年金300万円）	6,200円
400万円（給与／年金550万円）	11,800円

保険料引上げの原因は、26年度から新たに始まる「子ども子育て支援金」です。児童手当の拡充など子育て支援策に使うとして、全ての医療保険料に上乗せして徴収する制度の導入を、24年4月に当時の自民・公明政権が強行していました。

今回、岡山市は、従来の保険料部分については、国保基金を約3.3億円取り崩して据え置くようにしましたが、「支援金」約2.7億円分については、保険料に上乗せし、結果として値上げとなりました。「支援金」は、3年かけて段階的に額を引き上げていくことになっています。

子育て支援は不可欠ですが、国は国民に負担増を押し付ける一方、児童手当の国負担を大幅に減らしました。物価高で生活が苦しい時に追い打ちをかける、お門違いの負担増です。

社保協が署名を提出 委員も言及

国保運営協議会の会場には、岡山市社会保障推進協議会（市社保協）の皆さんが出した「高すぎる国保料の引き下げを求める署名」が置かれていました。署名を踏まえて、委員から「物価高で国保料を引き下げてほしいという声が届いている、保険料の値上げは大変だと、暮らしへの影響を懸念する発言もありました。

党市議団は、2月議会で暮らしを守る政治の実現へ力を尽くします。



3,401 筆の署名を提出する岩崎
ゆう子市社保協会長（右）1/26

◆2026年2月議会日程（予定）

2/5 請願・陳情締切 10 議会運営委 16 開会
20・24 代表質問（共産は2/24） 25・26 一般
質問 3/2～4 予算特別委質疑 5・6 予算特別

委分科会 3/9 常任委 12 予算特別委（意見
表明・表決） 16 議会運営委 17 閉会